

第3回 理事会報告

10月10日(木)全労済北海道会館を会場に開催されました。北大生協小助川理事が議長に選出され、麻田会長からのご挨拶のあと、議決事項①協同組合ネット北海道への参画について、参加すること②「ほっかいどう応援団会議」への参加要請を受諾すること③台風15号に伴う千葉県の大規模停電や家屋被害に対する北海道生協連の募金について千葉県生協連、コープみらい、パルシステム千葉、なのはな生協に各10万円を送金することが確認されました。④次回1月23日(木)理事会の開催及び役員向け学習会と新年懇親会について、役員向け学習会と新年懇親会は今年は「協同組合ネット北海道準備会」の交流・懇親の場として、参加予定の協同組合の役員と事務局対象に実施することの提案が確認されました。審議事項では、①協同組合ネット北海道がすすめる活動テーマについて、連携強化、環境問題の協働、地域コミュニティーの再生、チーム活動としては協同組合教育、災害時対応、内外広報活動に関し提案され、協同組合の価値を広げる視点と内向

きになりやすい警鐘や若い職員や組合員の参画についての意見を反映することが確認されました。②北海道LPガス問題意見交換会への対応として発言について③2019年度灯油をめぐる状況の取り組み方針について、情勢急変の際には、行政への要請行動の協力について確認されました。

報告事項では、①一般活動経過報告②2019年度上期決算速報報告③ヒバクシャ国際署名及びNPT再検討会議の取り組み④労福協「政策制度改正要請」への参画⑤福祉問題を考える委員会開催報告⑥兵庫県生協連視察報告⑦堤未果公開講演会報告⑧全岐阜県生協連拡大理事会研修対応の件⑨大学生協理事長懇談会の共催について⑩北海道ユニセフ協会25周年記念式典参加報告⑪安平町復興記念式典参加報告⑫コープさっぽろ社会福祉基金主催「2019年度福祉講演会」後援・協賛依頼⑬友好団体他⑭北海道東北地連⑮青森保健生協視察報告についてなされました。

「協同組合ネット北海道」 取組報告！

9月25日、協同組合ネット北海道準備会交流第2弾「社会貢献事業」活動交流会が開催され、熱心な論議が行われました。

交流会には、11協同組合を含む13団体36人が参加し、生協陣営からはコープさっぽろ横澤本部長、高口・渡部部長、道生協連から山口副会長・松本・川原事務局が参加しました。

社会貢献事業取組み報告をJAグループ、FJグループ、生協グループ(横澤本部長報告)、森連、ろうきん、労働者協同組合センター事業団から行い、事務局提起(北海道生協連川原)協同組合ネット北海道準備会取組み「経過・本日の位置付け・今後」、ワークショップ(A・B・C・Dに分けてのグループ討議)、討議テーマ「協同組合ネット北海道として推進する活動テーマに

ついて」、基調報告社会貢献事業の基礎と協同組合への期待(講師ソーシャルビジネス推進センター理事長相内俊一)、などの報告・ワークショップ・講演などを行い感想としては、①社会貢献事業では、コープさっぽろの体系的・継続的・広域性・深耕の取組に学ぶところが大きくあり②協同組合教育では、「JAカレッジ」の施設・プログラムに学ぶことが多く③広報活動は、170万組合員を対象とした、コープさっぽろのスキル・システムの多様性に学びました。

今後の取組日程としまして、①11月20日協同組合連絡協議会幹事会②1月23日協同組合ネット北海道準備会役員事務局交流・懇親会③3月2日「協同組合ネット北海道発足式」を計画しています。以上報告いたします。

「堤未果」公開講演会420名が参加し大成功！

「日本が売られる」～どうなる私たちの未来～

9月18日、ニューオオタニイン札幌2階鶴の間で、2月4日の「金子勝」公開講演会に続いて、JAグループ北海道・北海道労金・北海道生協連三者の共催で、公開講演会が開催され多くの参加者で会場が埋め尽くされました。

講演会の司会は労金の林副理事長が務められ、JAグループ北海道の飛田会長の開会挨拶で始まり、堤未果さんのお話は、10分に渡って普段私たちが知らない・知らされていない事がたくさん話されました。会場からの熱心な質問と協同組合陣営への堤さんからの熱い期待についてのお話もあり、麻田北海道生協連会長の閉会挨拶で講演会は終了しました。

参加者からの感想では、「このような講演会を年2回は計画して欲しい」「協同組合間協同をもっと進めて欲しい」「現実の政治や問題点を知らなすぎる、もっと色々勉強が必要」「三団体のゆるやかな連携を期待します」「生協で働くことの自負を持ってました。大変勉強になり有り難うございました。」「食の安全のた

めに、グローバル農業ビジネスにきっぱりと反対して欲しい」「すばらしい講師を招いていただき有り難うございます。応援しています。」「水問題についてマスコミと国会議員の怠慢さを改めて感じさせられました。」「日本を売られない5つのキーワード一つ一つがとても大切と認識しました。100年後を見つめる消費者でありたいと考えます。」など、うれしい感想が寄せられました。次回公開講演会は、2020年春に計画します。ご期待ください。



道議会各会派へ奨学金返済支援の施策活用の要請を行いました

北海道奨学金ネットワーク

10月17日(休)道連・大学生協連北海道ブロックが幹事団体として参加する北海道奨学金ネットワークは、道議会各会派へ奨学金負担の軽減と返済支援のため、2015年、国（総務省・文部科学省）が通知した「奨学金を活用した大学生等の地方定着の促進の取り組み」に関し、北海道として実施すること及び2020年度予算措置の要請を行いました。（民主・道民連合は10月29日）

北海道は特に、奨学金利用が45%と高く、全国平均を9.5%と上回っており、3ヶ月以上の滞納率も0.2%高い1.7%で、奨学金に頼り、返済にも苦慮している実態があります。（日本学生支援機構16年度調べ）

「奨学金を活用した大学生等の地方定着の促進の取り組み」とは、地方公共団体と地元産業界が地方経済牽役となるような産業や戦略的に振興する産業を定めると共に、地方大学等に進学する学生や特定分野の学位を取得しようとする学生に対して無利子奨学金の地方創生枠への推薦を行うと共に地元企業等に就業した者の奨学金返還を支援するための基金を造成することとしています。自治体の基金造成には1億円迄、国の特別交付税の支援措置もあります。

現在、すでに32府県で実施されていますが、北海道は企業や人材の札幌圏一極集中や産業界等との調整を理由に進展していません。



自由民主党・道民会議



北海道結志会



公明党



日本共産党